



シーズン中の計画・見通し・実績を正しく把握！

経営者～部門責任者の「欲しい情報」がここに！

よくある課題を解消！ プロスポーツに特化した 管理会計のすすめ



管理会計の必要性は感じているが、なかなか手が回らない…

先々の見通し管理を適切に行いたいけれど、新たに大きくコストをかける余裕はないし、ハードルが高い…。もし、そのハードルが低く、実はスモールスタートではじめられたら？

本資料では、管理会計を適切に行うことによる経営への効果を、事例とともに解説します。

先々の見通しは 経験（感覚）で判断している

- 財務会計システムは導入しているが、管理会計は独自にExcelで管理しているため、タイムリー性に欠ける
- そのため、先々の見通しについては、経験（感覚）で判断してしまっている

専用のシステムを導入すると コストがかかってしまうのでは？

- 管理会計は難しいのではないかな？
- システムの導入・運用には、金銭的・人的なコストがかかるのではないかな？
- 導入しても使いこなせるかな？

解消！

サブスクによる低コストで 管理会計システムを導入！



管理会計について

管理会計とは、「企業の業績を正しく把握し、客観性をもって分析して経営に役立てる」ことを指します。

すなわち、
様々な側面から意思決定のために経営を分析することが管理会計です。

プロスポーツクラブ経営における4つのお悩みごと

プロスポーツクラブ経営についても、一般企業同様にバックオフィスの課題が多くあります。ここでは、よくある具体的なお悩みについて4点ご紹介します。

1

社内外向け報告資料の まとめに時間がかかる

会計システムからの実績、
営業管理ツールからの進捗
など、これらの報告資料を
まとめることに相当な時間
がかかっている。

2

部門ごとの配賦計算に 手間がかかる

売上・費用の実績データを
配賦率に基づき計算し、
各部門に配賦する作業に、
かなりの手間と時間を要して
いる。

3

次年度計画作成に 毎年時間がかかる

トップダウンによる金額指示
を基に次年度計画を作成した
いが、計画が上がってきてか
ら決定するまでに何か月も
かかる。もっと効率よくした
い。

4

リーグへの報告資料に 毎回手間がかかる

リーグへ報告する際、自クラ
ブの科目と報告する科目が
異なるため、科目をまとめる
のに毎回手間と時間が
かかってしまう。



こうしたお悩みを解決できるのが、
「**管理会計のシステム化**」です！



管理会計をシステム化することで、こう解決できます

例えば外部データ連携や配賦率計算など、別途再入力や計算を必要とする業務が「楽」になります！

1

外部システムからのデータ連携を半自動化

システム化すると、現状お使いの営業管理ツール、会計ツールとのデータ連携を半自動化できます！

事前マッピングを施すことで、作業の効率化が図れ、**面倒なデータまとめに**かける時間を一気に短縮することが可能です！

2

部門ごとの配賦計算も事前設定でらくらく

例えばチケットを他部門が販売した場合や、内部での売上・費用が発生する場合。

システム化すると、予め部門ごとに科目の配賦割合を設定しておくことができ、**実績を取り込んだ後、自動的に各部門へ配賦を行うことが可能**です！

3

前年実績を基に次年度計画もかんたん

システム化すると、前年度の実績を基に、次年度計画を迅速に立案することが可能です！

当システムでは、目指したい収支金額（または成長率）を指示するだけで、**概算ベースで各部門の予算を瞬時に作成**します！

4

科目マッピング設定でリーグ報告もらくらく

自社で管理している科目とリーグ報告科目が違って大丈夫！

システム化すると、自社管理科目とリーグ報告科目をあらかじめマスタ上でマッピングすることで、**報告資料をボタンひとつでダウンロード**することができます！

システムを用いた管理会計のはじめ方【4つのステップ】

プロスポーツクラブ経営に役立つ管理会計を、低コストで実現するための「4つのステップ」をご紹介します。



タイムパフォーマンスを向上させ、
業務効率を最大限に伸ばす
サポートを行います！

STEP 4 科目の見直し、売上の詳細管理【安定経営へ】

「より詳細な管理」を行うために「科目の見直し」や、「チケット種別・座席」までを含めた管理をすることで、より安定した経営を目指せます。

STEP 3 計画/見込/実績を利用した差異分析【正確な収支管理】

立案した計画通りに事が進んでいるかどうかを、業績管理表と実績一覧表で確認し、実績との差異を分析することで、正確な収支管理を行うことができます。

STEP 2 バックオフィス業務の半自動化【まとめ時間の削減】

会計からの実績、営業管理ツールからのデータをシステムに連携することで、管理資料まとめにかかっていた時間を大幅に削減！コストを他の業務に回すことができます。

STEP 1 現状の整理【情報の一元化】

まずは現状管理している情報をシステム化し、情報の共有化と属人化防止を行います。



いきなりSTEP4までをやろうとすると、人的コストが発生してしまいます。まずはSTEP1~2からはじめることが、改善の大きな一歩になります。

プロスポーツクラブ経営管理会計システム



管理会計を適切に行うには、プロスポーツの経営にマッチしたシステムの導入が最適です。

機能・特徴

スポマネは、プロスポーツクラブ経営に特化した「日本で唯一」の管理会計システムです。クラブ経営で必要とされる基本的な機能を備え、お客様のニーズに合わせて柔軟かつ低コストでご導入頂けます。

特長

- 既存のシステムから、柔軟にデータを取り込めます
- 月額制で導入のコストが低く抑えられます
- 人手不足の場合でも、フルサポートプランがあります
- クラブ規模の大小にかかわらず対応可能です
- 直感的操作でユーザー様の習熟に時間がかかりません

ご導入の流れ・価格のご紹介

■ご導入の流れ

お問い合わせから稼働まで、最短3か月での構築が可能です。
ヒアリング⇒コンサルティング、マスタ設定⇒操作指導
テスト試用⇒本契約

■ご参考価格（税抜）

[年間契約のサブスク版 ※月額表示]

- ライトプラン（5ライセンスまで） 月/ ¥29,800-
- ミドルプラン（10ライセンスまで） 月/ ¥49,800-
- ヘビープラン（99ライセンスまで※） 月/ ¥79,800-
- 導入サポートおまかせプラン※ 初回のみ ¥400,000-
- 公認会計士による運用サポート 月/ ¥15,000~

※導入サポートが必要な場合
※99ライセンス以上はご相談ください

詳しくは、お気軽にお問い合わせください



資料・価格表のダウンロード先はこちら
<https://prosportsmng.com/>



株式会社茨城ロボッツ・エンターテインメント様

B-League (B1)

Before

- 各部署からかき集めたデータを基に、経営者が自分の頭の中で判断せざるを得ない。
- 会計からの実績データや、SFAからのデータを基に管理資料を作っているが、まとめが二度手間になっている。
- 意思決定のための、まとまった報告があがってくるまでに時間を要す。
- 次年度計画作成にあたり、トップダウンでの金額指示を行っているが、たたき台が上がってくるにも時間を要す。

After

- 管理会計をシステム化することで、先々の指針となる**業績の見通し、予実対比などが一目瞭然**となった。
- スポマネのデータマッピング機能で、わざわざデータの切り貼りをせずとも、出力したそのままの状態データを取り込むことができ、**業務効率がだいぶ良くなった**。
- スポマネに登録している情報をそのままファイル出力すれば良いので、**タイムパフォーマンスが向上した**。
- 前年実績を基に、一瞬で部門ごとの概算予算を作るため、**次年度計画策定までのスピードがかなり上がった**。

お問い合わせは

株式会社日本SI研究所

営業企画部 大高・潤間までお気軽にどうぞ

<E-MAIL> sales-team@jsirc.co.jp

<TEL> 03-6659-3242

<会社HP> <https://www.jsirc.co.jp/>

<スポマネ特設ページ> <https://prosportsmng.com/>

